

# 2022年度 社会福祉法人青谷学園事業計画書

## 経営理念

地域社会への貢献と、ご利用者様に「生きがい」「満足」「感動」のある福祉サービスを提供します。

## 基本方針

- 一 ご利用者様が豊かな人生を送れるよう、質の高いサービスを提供します。
- 一 地域福祉の推進と地域社会の発展に寄与します。
- 一 そのために健全な経営体制を構築します。

## はじめに

1982年3月に設立した当法人は、今年で40周年となります。この節目をデジタルトランスフォーメーション(以下「DX」)元年と位置付け、経営や業務プロセスそのものを根本的に改革する取り組みを開始します。そして変革とICTの活用により生産性を高めます。

生産年齢人口の減少の中、職員ひとりひとりが、自分らしい働き方ができる魅力ある職場とすることで人材を確保し、質の高い福祉サービスの提供を継続します。

SDGsの17のゴールから、中長期計画との関連性を常に意識し、計画の具体策に沿ったさまざまな施策をとおして持続可能な世界の実現に貢献します。

新型コロナウイルス感染症拡大による社会の変容で、福祉の環境も大きく変わりました。時代の流れを先読みし、変化に即座に対応しながら、未来志向で事業展開してまいります。

## 1 DXの推進

青谷学園のDXビジョンです。

施設をご利用いただく方、職を求める方に選ばれる法人を目指して、デジタルを活用することで意思決定の迅速化と業務の効率化を図ります。こうして生産性を高めることで生じた余力は、全てのステークホルダーを幸せにするための行動に投入します。

福祉業界は制度の中で営まれています。福祉サービスの対象者や報酬額が定められていることから、労働力を高めたからといって収入が2倍にも3倍にもなるというビジネスモデルではありません。上限があるサービス報酬の中で、いかにコストを抑え、持続可能なものにするか、どこに投資するかが勘所です。5年後・10年後を見据えてデジタル化を進め、生産性の向上を図ります。

デジタルイゼーション(アナログ・物理データの単純なデジタルデータ化)は完了しており、次の段階のデジタルライゼーション(個別業務・プロセスのデジタル化)に着手します。

具体的には、インカムやLINEWORKSといったコミュニケーション機器のさらなる活用と、介護デバイスを導入します。

### ■ 2022年度重点取り組み事項

- ・バックオフィス業務のDX
- ・2023年度電子帳簿保存法への対応にむけて
- ・ロボット化とICT活用で生産性向上

## 2 中長期計画の実行

### ■ 2022年度重点取り組み事項

信頼と協力を得るための情報発信	“見える化”にとどまらない“見せる化”を推進し、国民の信頼と協力を得るために、積極的な情報発信に取り組みます。	広報ツールの活用との充実	ホームページによる情報発信	地域へ取り組みを紹介
人材の確保に向けた取り組みの強化	良質な福祉人材の確保に向け、様々な採用手段を講じます。	採用	計画に基づいた採用	正規職員は法人一括採用
		内定者へのフォローアップ		内定式の開催
人材の定着に向けた取組の強化	福祉サービスの継続と発展のために、職員処遇全般の向上、働き甲斐のある職場づくりに取り組みます。	処遇の適正化	給与	非正規職員にも人事考課
			福利厚生の実施	提供内容を見直し
		業務の省力化	IT・ICTの活用	紙媒体から電子媒体へ切り替え

## 3 危機管理対策の強化



### (1) 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらない中、職員自身が感染しないように一人ひとりが高い意識をもって感染予防に努めています。感染症を正しく理解し向き合っていくとともに、感染者に対して差別や偏見のない対応ができるよう職員教育を行います。

感染状況に応じた予防対策を講じるとともに、施設でクラスターが発生した場合には事業継続計画(以下「BCP」)に基づいた行動ができるよう訓練を積み重ねます。

### (2) 災害支援体制の構築

2021年5月10日改正された災害対策基本法施行規則に基づき「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」が改正されたことに伴い、当法人の福祉避難所の受入対象者は障害者としています。近隣の障害のある方への案内など積極的な広報により、災害の際には有効に機能するよう体制を構築します。

施設のご利用者様と避難されてきた方、そして職員の安全確保と一定期間の生存のために、非常用自家発電機の保守、非常用食糧7日分と災害対策用品を配備します。

#### 災害時事業継続マネジメント基本方針

当法人は、大規模地震や水害等の自然災害、火災、停電、断水、伝染病、放射能汚染、テロ等が発生し、通常の事業の継続に支障を来す様々なリスクに備え、人命尊重を第一に、障害者支援施設の利用者に対し可能な限りのサービス提供を継続し、社会福祉法人としての役割を果たすために事業継続マネジメントシステム(BCMS)を構築し実行します。

#### 行動指針

- 一 施設利用者と職員の人命を第一に行動する
- 一 障害者支援施設のサービス提供とその他の重要業務を継続的に行う
- 一 地域からの避難者の受け入れをする
- 一 当法人の被災への対応に目処が付き次第、地域の避難救護活動に協力する

## 4 健全経営の取り組み



コロナ禍においても安定した事業運営ができるよう、収益確保と予算配分を適切に行います。将来の修繕・改築のために、積立金計画に基づいた積立も行います。

## 5 健康保持・増進の取り組み



「健康 de 笑顔 大作戦！」をスローガンに、健康で笑顔あふれる職場を目指して健康経営に取り組みます。

職員が、いつまでも元気で、いきいきと働き続けられることは、職員にとっての幸福であり、それが施設のご利用者様に笑顔で接することにつながります。

職員満足度調査を行って不満要因を取り除いていくことで、エンゲージメントを高め、組織と個人が貢献し合う職場環境を目指しています。モチベーションを上げることで、高い生産性を実現することを健康経営の目標とします。

### (1) 健康経営優良法人認定に向けて

3年連続で健康経営優良法人(大規模法人部門)の認定を受けました。引き続き認定を取れるよう健康経営推進部と衛生委員会が協力して健康保持・増進に取り組みます。

### (2) 健康アプリ「カロママ」の活用

2020年度に導入した健康アプリ「カロママ」を活用して、職員一人ひとりの健康維持と健康管理に役立っています。

### (3) 体成分分析装置の活用

2020年度、職員やご利用者様の健康増進のため、体内の水分や筋肉、脂肪などの体成分量を分析できる体成分分析装置を整備しました。2022年度も継続的な測定を行うことで数値の変化を捉えて健康管理に活用します。

新型コロナウイルス感染症が収束すれば、城陽市や社会福祉協議会と連携して地域の健康増進に役立っています。

### (4) 健康診断

健康保険に加入の35歳未満の職員には、定期健康診断を実施します。この内、生活支援員と看護師には腰痛健康診断を問診形式で実施します。

また、夜勤をする生活支援員には特別健康診断を実施します。

### (5) 生活習慣病予防健診等

生活習慣病の予防とがんの早期発見のため、健康保険に加入の35歳以上の職員に生活習慣病健診を実施します。このほか2年に1度、男性職員には前立腺がん検診、40歳以上の女性職員

には乳がんマンモグラフィー検診を実施します。

また、20歳以上の女性職員には2年に1度子宮頸がん検診、24歳30歳36歳の女性には乳がん超音波検査を実施します。また46歳と56歳時は人間ドック健診とするなど、健康に関する研修の実施とともに、幅広く健診・検診の機会を提供しています。

#### (6) ストレスチェック

健康保険に加入の職員には、ストレスチェックを実施します。今年度からは福利厚生倶楽部のリクラブが実施するエンゲージメンタルサーベイにて2回行います。

この他6か月ごとショートサーベイにてストレスをチェックし、離職率の減少につなげたいと思います。

また結果について集団分析を行い職場の環境改善に役立てます。

#### (7) 感染症予防

感染症対策として全職員にインフルエンザ予防接種を行います。新型コロナウイルスワクチン接種の啓発をします。今後対象を拡大し、扶養家族への感染症予防対策も検討します。

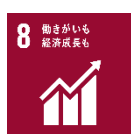
#### (8) 腰痛予防

在席する職員全員に1日2回本気のラジオ体操を実施します。ご利用者様の介助にあたる職員は始業時に腰痛予防体操も実施します。また、腰痛発生リスクの高い職員には、腰痛ベルトを配布します。

#### (9) がん対策推進

2020年度にがん対策推進企業に登録しました。がん教育・がん検診受診率向上・がんになっても働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。それによりがん検診の受診率もどんどん向上しています。これからもこれらの取り組みを継続します。

### 6 人材育成と人材確保



少子高齢化および人口減少社会において、人材の確保・育成・定着が大きな課題となっています。福祉は「人が全て」であるからこそ、対人支援のプロとして1人の労働力でどれだけの成果を生み出すことができるのかが鍵となります。そのためにはひとりひとりの能力向上による生産性向上や、働きやすい職場環境による人材育成や定着が重要となります。様々な福利厚生や職場環境構築により、「人を育てる」体制づくりに取り組んでまいります。

#### (1) 働き方改革への取り組み

すべての職員に「残業をしない」という意識を持ってもらいます。そして管理職でない一般職員には、原則残業させないこととします。

電子帳簿保存法への対応に合わせて徹底したペーパーレス化を進めるとともに、生産性向上のため非効率的な業務の洗い出しや手順の見直しを行います。

#### (2) サービス報酬の処遇改善加算等による賃金改善の継続

サービス報酬の処遇改善加算及び特定処遇改善加算に係る賃金改善事業を引き続き行います。2021年度に実施したベースアップと合わせて他法人に劣らない処遇を目指します。

### (3) 賞 与

賞与の支給率については、人員確保の観点から他の社会福祉法人の支給率を意識したものでなければなりません。加えてコロナ禍におけるプライベートでの行動制限や、感染症に対する緊張感の維持に報いることのできる支給率とすることから、年4.1か月を目指します。

### (4) 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画並びに次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の推進

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画については、2021年4月から3年の計画期間で女性の管理職の人数を増やしていく目標を掲げています。また女性活躍推進企業認定の「えるぼし」は昨年に3つ星を取得しました。今後も継続し女性の活躍ができる環境を整備し、女性活躍を推進していきます。

次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画については、2021年4月から2年の計画期間で策定し「くるみん認定」の更新を目指します。

前年に引き続き、若手労働者を対象に、出産及び子育てを経験して働き続けるキャリアイメージの形成を支援する研修の実施を目標に掲げて、若手労働者が長く働きキャリアアップを目指せるよう取り組みます。

### (5) 年次有給休暇の取得促進

2022年度に付与する年次有給休暇の取得目標を8割以上とします。なお、全ての職員が7割取得必達は継続して行います。

### (6) 福利厚生

委託している福利厚生サービスの契約内容を見直し、これまで以上の豊富なメニューを提供します。マイクロソフトオフィス資格などのeラーニング800講座を追加したり、記念日にカタログギフトをプレゼントしたりするなど充実を図ります。

### (7) 職員紹介報奨制度の活用

職員から紹介のあった就職希望者が採用に至った場合に謝礼金を支払う制度を2022年3月に導入しました。この制度を活用して有望な人材の獲得を目指します。

### (8) 再雇用制度の導入

新たに導入する元職員の再雇用制度を活用して、結婚や出産、引越しなどで青谷学園を退職した職員の再雇用を目指します。まずは退職者へ制度の案内を行います。

## 7 情報セキュリティ管理の徹底



DXの推進に伴い、ハードやソフトと共にIoTに関連したセキュリティ対策が重要となります。また、複雑化するネットワークに対応できる人材の育成も必要となります。バックオフィスの

D Xを進めるにあたり、専門的な知識が求められることから専門業者と連携し、セキュリティ管理の徹底を行っていきます。

SECURITY ACTION宣言や情報セキュリティ基本方針に基づき、管理体制を万全なものとしします。

## 8 地域社会への貢献



アフターコロナの未来には、生活困窮者が増え、ひとり親世帯の3割の家庭で“食生活が悪化”している等の調査結果があります。そのような状況の中、社会福祉法人の使命である地域貢献として、フードバンク・フードドライブ事業に重点をおいた施策の強化を図ります。

昨年度より地域貢献担当者の充実をはかり、より一層地域社会との共生と貢献に取り組んでいます。

### (1) フードバンクへの取り組み

個人や企業から持ち込まれた食品ロスとなる食材を子ども食堂に分配するという京都府社会福祉協議会が取り組む「京都市式フードバンク事業」に参画しています。青谷学園は食材の一時保管場を担っています。

保管場所には大型冷凍冷蔵庫を備えているため冷凍食品や生鮮食品も分配します。

### (2) 京都中央信用金庫と協働しフードドライブ事業を推進

京都中央信用金庫の城陽市内の店舗と協働してフードドライブ事業を行います。近隣住民の方が自宅で余った食品を店舗に持ち寄り、それを一括して金庫から当法人が預かり、子ども食堂に分配します。

### (3) 食品ロス削減に向けて城陽市に協力

食品ロス削減推進法が制定されたことから、城陽市も食品ロス削減対策に着手され、2020年にすでにフードバンク事業を展開している当法人と協力体制で取り組んでいます。また休校による給食の食材のフードロスなども子ども食堂に分配しています。

### (4) 実習学生等の受入れ

新型コロナウイルスが蔓延している中ですが、各種学校からの福祉現場実習学生や就業体験・職場体験の受け入れ要請に積極的に応えます。

このほかインターンシップを希望する学生さんには、WEB上での就業体験を提供します。

### (5) 城陽市社会福祉協議会との連携

地域貢献を展開していく上で、地域のニーズを知る必要があります。そこで、さまざまな要望を集約されている城陽市社会福祉協議会と連携して情報収集し、地域貢献事業につなげてまいります。

### (6) 出前講座

障害や障害者について、少しでも多くの学生に理解を深めることが重要であると考え、出前講座の依頼があればお引き受けします。特にコロナ渦においては、オンライン講座に対応します。

## 9 パートナーシップ構築



パートナーシップ構築宣言に基づいて、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップの構築を目指します。

- ア サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組みます。
- イ 既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。
- ウ 災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP策定の助言、健康経営の支援を進めます。
- エ 環境負荷の少ない商品・サービスや、環境配慮に積極的に取り組んでいる企業から、優先的に調達を行います。

# 法人本部

## 1 DXの推進

DXは法人本部が主体となって施策を検討し推進します。電子帳簿保存法への対応を2023年度と定め、今年度中にプリンターやクラウドなどIoT関連の見直しと整備を行い、ペーパーレスへ転換します。

## 2 中長期計画の実行

“見える化”にとどまらない“見せる化”を進めるため、広報誌やホームページから積極的に情報発信を行い社会福祉法人の存在意義を広めます。

## 3 役員

### (1) 理事会・評議員会の開催

理事会を3回、定時評議員会を1回開催します。ただし、必要に応じて開催回数を増やします。また、評議員に異動がある場合は評議員選任解任委員会を開催します。

### (2) 監事監査

監事監査を5月下旬に実施します。

### (3) 役員賠償責任保険に加入

理事、監事、評議員、施設長が保証の対象となる役員賠償責任保険に継続加入します。

### (4) 福利厚生

理事、監事にはリロクラブの福利厚生メニューを提供します。今年度から契約内容を見直し、より充実した内容とします。

## 4 職員

### (1) 人材確保

人材確保を効率的に進めるため、事業所ごとの採用から法人一括採用に切り替えます。さらに、就職情報サイトとオンライン面接を活用して全国に向けての募集に注力します。

就職フェアでは、週休3日や介護のロボット化をアピールして一定数の人員を確保します。

人材定着に向けて、法人全体で業務手順の見直しを行い効率化を進めます。業務の細分化を進めて、正規職員でなくてもできる部分はパートタイム職員を充てるようにし、適正な人件費比率を目指します。

今年度から10月1日に内定式を開催します。内定者には就業への不安なく入職ができるよう、オンライン形式の就業体験や、施設行事のZoom配信によるフォローアップを行います。

### (2) 職員教育

情報収集と資質向上のため、経営協が開催する研修会に積極的に参加します。

毎年実施しているメンタルヘルス研修は、外部講師を招いて全職員を対象に集合形式で開催します。

eラーニングは、新たにリロクラブの「playse」を追加して4社と契約し、一般的な基礎知識から障害者支援の専門知識や実践スキルまで幅広い内容で提供します。自己啓発を促し能力アップ



による生産性向上を目指します。

### (3) 健康保持・増進

職員の健康保持増進のためリロクラブの健康アプリ「カロママプラス」を引き続き活用します。毎食の栄養量や運動量などを入力して健康アドバイスを得られたり、健康診断結果をデータとして蓄積できたりします。利用を促進するため入力するごとにポイントを付与します。ポイントはリロクラブのサイトでチケットや商品の購入で利用できます。

また、法人全体の職員の健康保持増進のために、職員から要望のあった健康関連器具を導入します。

### (4) 福利厚生

リロクラブの福利厚生メニューを提供します。今年度から契約内容を見直し、より充実した内容とします。

### (5) 家族の職場訪問の開催

一般事業主行動計画に基づく家族の職場訪問を障害者支援施設青谷学園と合同で開催します。

### (6) 制服の支給

本部職員の制服の補充をします。

## 5 情報セキュリティ管理

職員一人ひとりの情報管理に対する意識を向上させ、厳格にルールを守るよう職員教育を行います。

情報セキュリティ環境の継続のためにIT資産管理ソフトを継続利用します。

## 6 固定資産の整備

### (1) カラー複合機の更新とスキャナ保存ソフトの導入

電子帳簿に対応するためカラー複合機に更新します。あわせてスキャナ保存ソフトも導入します。

カラー複合機更新費 700,000 円

スキャナ保存ソフト 150,000 円

### (2) 会計ソフト連携オンラインストレージ導入

電子帳簿保存法への対応のため、PCA会計ソフトに適したオンラインストレージを導入します。

オンラインストレージ年間使用料 400,000 円

## 6 情報収集

### (1) 全国社会福祉法人経営者協議会への加入

社会福祉に関する情報を取得するためと、協議会が開催する研修会に参加するため、引き続き全国社会福祉法人経営者協議会に加入します。

### (2) 全国社会福祉法人経営青年会への加入

若年理事の育成のため、また新型コロナウイルス感染症の蔓延による社会の急激な変化に対応するため、全国社会福祉法人経営青年会に加入します。

### **(3) 社会福祉協議会への加入**

地域福祉に一体的に取り組んだり、研修会に参加したり、社会福祉に関する情報を収集したりするため、引き続き社会福祉協議会に加入します。

## **7 情報公開**

“見える化”にとどまらない“見せる化”を進めるため、地域広報誌やホームページから積極的に情報発信を行い社会福祉法人の存在意義を広めます。

## **8 地域社会への貢献**

### **(1) フードバンクの取り組み**

企業などから集められたロスとなる食品を集めて、近隣の子ども食堂に分配します。また京都府社会福祉協議会が取り組む京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」に参画して「京都式フードバンク事業」の食品の一時保管場所としての役割を果たします。

### **(2) 食品ロス削減への取り組み**

城陽市や京都中央信用金庫と協働して食品ロス削減の取り組みをします。

### **(3) 城陽市社会福祉協議会との連携**

城陽市社会福祉協議会や城陽市と連絡を取り合っただ地域から上がっている要望をお伺いし、その中に当法人でできることがあれば取り組みの検討をします。

## 障害者支援施設 青谷学園

ご利用者様に対する福祉サービスを継続的かつ安定的に提供するために、感染症対策に万全を期すとともに、優秀な人材の確保に注力します。

有事に備えてBCP(事業継続計画)が有効に機能するよう訓練を行うとともに、十分な備蓄品を確保します。

デジタル化への取り組みでは、ロボットを活用した介護を一層進めます。また、ご利用者様との面会をオンラインに切り替えたり、施設での行事や日々の様子をZoomで配信したりしていつでも対話できる環境を整えていきます。

### 1 利用者支援

生活介護並びに施設入所支援及び空床型の短期入所事業を行います。

サービスを受けられる主たる対象者を知的障害者とし、サービスの通常の実施エリアを山城圏域とします。サービス提供時間並びに休日は次のとおりとします。

サービスの種類	提供時間	休日
施設入所支援	午後3時00分～午前7時00分	なし
生活介護	午前7時00分～午後3時00分	なし
短期入所	終日	なし

#### (1) 虐待防止・身体拘束等の適正化のための対策検討委員会

いかなる場合も虐待を行わず、身体拘束を安易に正当化せず、ご利用者様の尊厳ある生活を尊重するための委員会を4回開催します。

#### (2) 感染症・食中毒対策委員会

感染症並びに食中毒の予防及び感染症のまん延防止のため、感染症・食中毒対策委員会を4回開催します。委員会は、すべての職員に対して感染症予防及びまん延防止の研修を行います。また、食中毒予防及びまん延防止の研修を調理従事者に4回、支援従事者に1回実施します。このほか、感染症・食中毒まん延に備えた訓練を1回実施します。

#### (3) 個別支援会議

ご利用者様の自己決定と選択を尊重するため、すべてのご利用者様から意向を聞き取り、個々の特性に配慮した説明により選択肢を提示し、個別支援会議でご本人の思いの実現に向けて取り組みます。

#### (4) 個別支援計画

直近のご利用者様の状況を反映した個別支援計画を作成します。通常は半年毎に見直しを行いますが、高齢化や病気などで見直しが必要な場合は期間を短縮して作成します。

#### (5) 生活支援

生活介護を必要とされるご利用者様に、作業、入浴、排泄、食事、着脱衣、整容の介護や、相談援助等のさまざまな支援を行います。

##### ア 作業

入浴剤の「バスボム」、檜の芳香剤「ヒノッキオ」、ビーズのアクセサリ「彩ブレスレット」、

ヘアゴム「くるみちゃん」を自主製品として販売します。利益の全額を商品券に変えてご利用者様に分配します。 販売目標額 30,000 円

#### イ 創作活動

折り紙、工作、絵画など「ものを創る」ことで自己表現するとともに、楽しみの充実につなげます。手指を動かすことで老化防止の効果も期待できます。

#### ウ フレイル予防

年齢を重ねたことで生じる筋肉の衰えや疲れなどを予防するための取り組みを行います。全てのご利用者様に特別整容を行います。整髪や化粧などの個別ケアにより、リフレッシュ効果につなげます。車いすをご利用の方や座位時間が長い方には、足浴やマッサージを行い、血行促進から浮腫み改善につなげます。さまざまな栄養素をバランスよく取り入れた施設の食事をしっかり摂っていただけるよう誤嚥に注意しながら食事支援を行います。

#### エ 食 事

個別栄養管理により、ご利用者様一人ひとりの栄養・健康状態に合った栄養量とした食事を提供します。塩分量は1日7.0グラムとします。誤嚥ゼロを目指し、嚥下機能の測定結果や日々の咀嚼の状態から、普通食が困難と思われる場合は、刻み食やソフト食などその方に合った食事形態により提供します。食材の値上げから食事単価を1食当たり10円増額します。食事提供時間は次のとおりです。

朝食	8時15分～
昼食	12時00分～
夕食	17時15分～

食材単価 朝 230 円 昼 330 円 夕 370 円

#### オ 入浴・排泄

入浴は毎日行います。通常の入浴が困難な方には、機械浴リフトや特殊浴槽での入浴を行います。病気等で入浴ができないときは清拭を行います。適切な排泄援助を行うとともに、自主排泄を目指した支援を行います。

#### カ 健康管理

眠りスキャンにより夜間の睡眠状態が把握でき、ご利用者様の生活リズムの改善を図ることができます。健康診断は9月と3月に行います。嘱託医による診察は月に2回設けます。また、歯科医による訪問診療を週に1回実施します。また、口腔ケアは、誤嚥性肺炎の予防はもちろん、経口維持・QOLの向上においてとても重要なものです。そこで、今年度から生活支援員に対して歯科衛生士による口腔ケアについての技術的助言・指導を月2回行います。ご利用者様の健康増進を図ります。骨折事故を防止するため、毎日の軽運動を継続していくと共に、日光浴マシンを積極的に活用し、骨形成を促します。

#### キ 健康相談窓口の設置

ご家族様がご利用者様の健康面に関するご質問やご相談を気軽にできる健康相談窓口を設置します。常勤の看護師が対応します。

## ク リハビリ

リハビリが必要な方には、週1回理学療法士による機能維持訓練を行います。嘱託医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、サービス管理責任者、生活支援員が立てたリハビリテーション計画に基づいて実施します。

## ケ リラクゼーションセラピー

セラピストの資格を持つ職員がリラクゼーションセラピーを週2回行います。

## コ 運動

ラジオ体操を午前と午後の2回実施します。また、高齢化するご利用者様の機能維持のため、朝食後に軽い運動を実施します。

## サ 行 事

次の行事を開催します。

7月	夏まつり
10月	ハロウィンパーティー
12月	クリスマスパーティー
1月	新年パーティー

## シ 外出の機会

### 【買い物】

近くのコンビニへ週2回出かける機会を設けます。このほか生協の宅配購入の機会を提供します。また、希望に応じてインターネット通販に対応します。

### 【余暇外出】

公園など密集しない場所への外出の機会を設けます。

### 【旅 行】

新型コロナウイルス感染症が収束した場合は、旅行の機会を提供します。旅行費用は個人負担です。

## ス 誕生日のお祝い

ご利用者様の誕生日にケーキでお祝いします。ご家族様にはその様子をZoomによりライブ配信します。

## セ 金銭管理

日々の少額の現金については施設が管理します。このほか、通帳と印鑑をお預かりする預り金管理サービスを提供します。こちらはご希望により利用することができます。

## ソ 利用者自治会

ご利用者様で構成される利用者自治会の運営を支援します。

## タ アンケート調査の実施

ニーズに合ったサービスを提供していくために、ご利用者様とご家族様にアンケート調査を実施します。

(6) 日課・月間予定表

	第1日曜	第1月	第1火曜日	第1水曜	第1木曜	第1金曜	第1土曜
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
午後	機械浴 コンピ ニ買物	特別整容	外出 余暇 時間	コンピ ニ買物 リラク ゼーシ ョン	歯科 往診 作業	創作 リラク ゼーシ ョン	シーツ 交換 リハ ビリ
	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇 リハ ビリ
	第2日曜	第2月曜	第2火曜	第2水曜	第2木曜	第2金曜	第2土曜
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
午後	機械浴 コンピ ニ買物	理髪 余暇 時間	理髪 余暇 時間	生活 整容 リラク ゼーシ ョン	歯科 往診 作業	創作 リラク ゼーシ ョン	シーツ 交換 リハ ビリ
	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 嘱託医 診察 入浴 余暇	ラジオ体操 入浴 余暇 リハ ビリ
	第3日曜	第3月曜	第3火曜	第3水曜	第3木曜	第3金曜	第3土曜
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
午後	機械浴 コンピ ニ買物	特別整容	外出 余暇 時間	コンピ ニ買物 リラク ゼーシ ョン	歯科 往診 作業	創作 リラク ゼーシ ョン	シーツ 交換 リハ ビリ
	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇 リハ ビリ
	第4日曜	第4月曜	第4火曜	第4水曜	第4木曜	第4金曜	第4土曜
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
午後	機械浴 コンピ ニ買物	作業	外出 余暇 時間	生活 整容 リラク ゼーシ ョン	余暇時間	創作 リラク ゼーシ ョン	シーツ 交換 リハ ビリ
	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 嘱託医 診察 入浴 余暇	ラジオ体操 入浴 余暇 リハ ビリ
	第5日曜日	第5月曜日	第5火曜日	第5水曜日	第5木曜日	第5金曜日	第5土曜日
午前	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操	軽運動 ラジオ体操
	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除	掃除
午後	機械浴 コンピ ニ買物	特別整容	外出 余暇 時間	コンピ ニ買物 リラク ゼーシ ョン	歯科 往診 作業	創作 リラク ゼーシ ョン	シーツ 交換 リハ ビリ
	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇時間	ラジオ体操 入浴 余暇 リハ ビリ

(7) 短期入所

帰宅や入院があった場合の空き居室を利用して短期入所サービスを提供します。入浴、排泄及び食事等の支援と見守りを行います。10日の利用を見込みます。

2 苦情相談窓口

ご利用者様からの苦情や相談、些細な訴えをキャッチできるように意見箱を設置します。苦情があった場合には、ご利用者様とご家族様向けの広報誌で公表します。

3 虐待防止に関する問い合わせ窓口

ご利用者様の人権の擁護・虐待の防止等のため、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する

支援等に関する法律」を遵守するとともに、虐待に関する問い合わせがあった場合は、担当者が速やかに対処します。

## 4 安全対策

### (1) 危機管理

BCPに基づいた訓練を1回実施します。災害用備蓄食料は帰宅できない職員分も含め7日分を備蓄します。このほか火災、震災、洪水、不審者の侵入を想定した訓練を行います。また、不審者の侵入に備え24時間監視装置による警備警戒をセコムに委託します。

### (2) 感染症・食中毒対策

すべての職員にインフルエンザの予防接種を行います。

新型コロナウイルス対策も継続して行います。光触媒空気消臭除菌装置により、館内の空気をきれいにします。換気はCO<sub>2</sub>測定器により効果的に行います。

調理エリアについては専門業者による衛生点検と衛生指導を2か月に1回行います。給食従事者の検便にはノロウイルス検査を追加して行います。

### (3) 地域住民との合同避難訓練

災害発生時を想定し、地域住民の方々と合同の避難訓練を開催します。施設の資源を活用することで、地域共生の理解を深めます。

## 5 職員

### (1) 職員教育

キャリアパスに基づいた人材育成計画により、施設内研修やWEB研修、OJTにより経験年数や職位に応じた教育を行います。また、介護福祉士や社会福祉士などの資格取得を支援します。

### (2) 若手職員の会の発足

若手職員を中心とした集まり「青葉会」を発足させます。フレッシュな意見や発想を様々なところで取り入れることで、若い職員の自主性を養い、活気ある職場環境を目指します。

### (3) AODANI 3 Q大会の開催

ご利用者様への支援の成果を発表する場として実践研究報告会を行ってきましたが、今年度から「AODANI 3 Q大会」とし、業務効率化や生産性向上に向けて各部署や委員会で行った成果なども発表の対象とし、全職員のモチベーションアップにつなげていきます。2回開催し、その様子をご利用者様のご家族様や内定者にZoomにより公開します。

### (4) 人材確保と定着

新卒採用のほか福祉未経験者や異業種からの転職を受入れるためにも、業務内容紹介映像を利用します。また、退職者の再雇用制度や職員紹介制度を活用して公募以外からも人材の確保を図ります。採用から1年間はプリセプター制度により丁寧な指導を行います。

すべての職員に満足度調査を行って長く働ける職場環境づくりに取り組みます。

### (5) 福利厚生

加入しているリロクラブのさまざまな福利厚生メニューを提供します。

## (6) 腰痛予防対策

腰痛予防対策チームを設置してノーリフティングケア研修会を開催するなど、腰痛予防のさまざまな取り組みをします。

## (7) 健康保持・増進

健康保持増進のためリロクラブの健康アプリ「カロママプラス」を提供します。食事内容や運動量などを入力して健康アドバイスを得られたり、健康診断結果をデータとして蓄積できたりします。利用を促進するため入力ごとにリロクラブのサイトで使えるポイントを付与します。

## (8) 家族の職場訪問の開催

一般事業主行動計画に基づく職員家族の職場訪問を開催します。

## 6 情報公開

### (1) ホームページの活用

ホームページを活用して様々な情報を公開します。

### (2) 広報誌の発行

ご利用者様とご家族様向けの広報誌「しゃらら」を毎月発行します。

### (3) 第三者評価受審

施設の透明性を確保するために第三者評価を受審します。

## 7 固定資産物品等の整備

### (1) 利用者居室の照明取り換え

経年劣化が進んでいる全ての居室の照明器具をLED照明に取り替えます。

LED照明設置費 1,045,000 円

### (2) ダイニングホール机と椅子の入れ替え

経年劣化が進んでいる2階3階ダイニングホールの机と椅子を入れ替えます。

ダイニング机椅子整備費 4,500,000 円

### (3) 離床センサー内蔵の電動式低床ベッド整備

ロボット補助金を活用し、就寝時など転落防止のための見守りに強化が必要なご利用者様を対象に、起き上がりや離床の動作を検知しその情報を職員室のパソコンに表示できる装置を内蔵した電動式低床ベッド8台を整備します。

補助金収入 2,100,000 円

電動式低床ベッド整備費 2,200,000 円

### (4) カラー複合機の更新

電子帳簿に対応するためカラー複合機1台を更新します。

カラー複合機更新費 700,000 円

### (5) 広報用パソコンの更新

耐用年数が到来した広報用のパソコン1台を更新します。

パソコン更新費 300,000 円



## **8 ご家族様への対応**

### **(1) 個別懇談会の開催**

希望されるご家族様には個別懇談会を2回実施します。感染状況によりZoom開催とします。

### **(2) アンケート調査の実施**

ニーズに合ったサービスを提供するため、ご家族様にアンケート調査を実施します。

### **(3) 施設行事のライブ配信**

施設内で開催される夏祭りやパーティーの様子をZoomによりライブ配信します。

## **9 地域貢献**

### **(1) インターンシップの受け入れ**

インターンシップは、新型コロナウイルス感染予防の観点から、Zoomによる就労体験形式として実施します。

### **(2) 施設公開の開催**

地域の方に青谷学園を知ってもらうため、施設紹介動画を作成しオンラインによる施設公開を開催します。

### **(3) 出張講座**

援助技術のノウハウやプロセス等を地域に広めるため、学校や他施設に出かけて、無償で講演や発表・講習会を行います。

### **(4) 実習学生・ボランティアの受け入れ**

今後、福祉社会を担う学生への指導のため、また、第三者(外部)の目を施設内に取り入れて開かれた状態を大切にするために、実習学生やボランティアを受け入れます。受け入れの際は、トラブルや事故等を防ぐため、事前研修等を行ないます。

## 障害者支援施設 DO

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、万が一施設内で感染症が発生した場合でも、事業を継続できる体制を整えます。

また、誠実な支援を基本とし、フレイル予防を重視します。制限はされますが、地域との交わりを大事にした活動を展開し、障害のある方への理解を深めます。

施設開所30年を迎える今年、施設事業を見直し、時代に沿う体制づくりを行います。

### 1 利用者支援

生活介護並びに施設入所支援及び空床型の短期入所事業を行います。

サービスを受けられる主たる対象者を知的障害者とし、サービス提供時間並びに休日は次のとおりとします。

サービスの種類	提供時間	休日
施設入所支援	午後4時30分～午前8時30分	なし
生活介護	午前8時30分～午後4時30分	なし
短期入所	終日	なし

#### (1) 虐待防止・身体拘束等の適正化のための対策検討委員会

いかなる場合も虐待を行わず、身体拘束を安易に正当化せず、ご利用者様の尊厳ある生活を尊重するための委員会を4回開催します。委員会では、虐待セルフチェックリストをもとに検証し、職員研修会を開催します。暴行など目に見える虐待だけでなく、職員のミスや知識・技術の不足によって起こる事象とその原因を明らかにし、虐待の未然防止に取り組みます。

#### (2) 感染症・食中毒対策委員会

感染症並びに食中毒の予防及び感染症のまん延防止のため、感染症・食中毒対策委員会を4回開催します。委員会は、すべての職員に対して感染症予防及びまん延防止の研修を行います。また、食中毒予防及びまん延防止の研修を調理従事者には4回、支援従事者には1回実施します。このほか、感染症・食中毒まん延に備えた訓練を1回実施します。

#### (3) 個別支援計画

ご利用者様の自己の決定を尊重するため、すべてのご利用者様について、ご要望や個々の特性を考慮し、ご本人の思いの実現を目指した個別支援計画を作成します。3か月から6か月を目途に、ご利用者様やご家族様にモニタリングを実施し、見直しを検討します。高齢化や病気などで見直しが必要な場合は適宜、適切な個別支援計画を作成します。

#### (4) 人権委員会

月に1回、ご利用者様と施設での生活のこと、職員のこと、設備のこと、施設の取組みなどについてお話を伺います。人権意識を高めると同時に、施設の取組みを分かりやすく説明します。意思決定を重視する上でも、職員がパターンリズムに陥っていないかの監視とその排除にもつなげます。

#### (5) 生活支援

生活介護を必要とされるご利用者様に、作業、入浴、排泄、食事、着脱衣、静養の介護等、さまざまな支援を行います。ご利用者様一人一人の生きる喜びや楽しみを第一に考えます。それは自立のためのモチベーションを高めるには不可欠なもので、生きる力となります。

#### ア 作業

働く意義や生きる喜びを実感するために作業を活用します。販売などの機会をとおして地域と関わり、障害のある人への理解を深めます。

作業の内容は次のとおりです。

喫茶 Cafe DO	施設内の喫茶Cafe DOで、飲み物やデザートの調理販売を行います。施設のプランター菜園で育てた農作物を使った商品も提供します。地域での販売も積極的に行います。
リサイクル自転車整備販売	宇治市や城陽市から放置自転車を譲り受けて整備点検し、市役所やコミュニティセンターなどで販売します。
内職作業	(株)ユタカ産業の内職を主として行います。

収入目標額 2,500,000 円

#### イ 食事

味覚だけでなく五感全てを刺激するような食事時間を目指します。嗜好調査で人気のあった定番メニューを基本とした献立とします。食材は、原則として原産地の明らかなものを使用します。

個別栄養管理により、ご利用者様一人一人の栄養・健康状態に合った栄養量や塩分量とした食事を提供します。普通食が困難と思われる場合は、刻み食やソフト食などその方に合った食事形態により提供します。調理業務は専門業者による外部委託とします。

食事開始時間は次のとおりです。

朝食	8時00分～
昼食	12時00分～
夕食	17時30分～

食材単価 朝 160 円・昼 420 円・夕 350 円

調理業務委託費 13,500,000 円

#### ウ 入浴

冬場はゆったりと入浴、夏場はシャワー浴とし、快適に過ごしていただけるようにします。

#### エ 健康管理

施設入所支援では健康診断を年2回実施します。嘱託医による診察は月に2回設けます。嘱託医と相談し生活習慣病等の予防に取り組みます。また、歯科医による訪問診療を週に1回実施します。

#### オ 機能維持訓練

必要な方には、週に1回理学療法士による機能維持訓練を実施します。

#### カ 社会の時間(入所のみ)

地域の中で生活をすることを目指したプログラムです。地域のスーパーや銀行、郵便局、コミュニティセンター等を自ら利用し、自分の力を試す機会を設けます。

## キ 運動

ラジオ体操を午前と午後の2回行います。運動の時間では、ゲームやスポーツ、機能維持運動を実施します。

## ク レクリエーション

次のレクリエーションを実施します。

4月	春の祭り
5月～6月	日帰り旅行(入所のみ) ※費用自己負担
7～8月	夏の祭り
12月	クリスマスイベント(通所のみ) ※費用自己負担 クリスマス会(入所のみ) ※費用自己負担
1月	初詣(入所のみ)

## ケ クラブ活動

ご利用者の関心や興味があるプログラムに自由に参加できるクラブ活動を実施します。

あとりえ	絵を描くことを主とした創作活動グループ。 自分を表現することを大切にしています。 ※実費は自己負担です
ヨガ	10月からインストラクターを招いてヨガを実施します。 ストレス発散やリラックスなど精神安定や身体の内部から力をつけていくなどの効果があります。
スポーツチャンバラ	安全でわかりやすいスポーツチャンバラを実施します。 健康維持やストレス発散に効果があるといわれています。
ちょこっとクッキング	作る楽しさや興味深さと同時に、簡単な手順の料理を通して、コミュニケーションの拡がりを目指します。 ※費用は自己負担です

## コ 金銭管理

日々の少額現金管理のほか、通帳をお預かりする預り金管理サービスを提供します。ご希望により利用することができます。

## サ 利用者自治会

入所されているご利用者様で構成される自治会運営の支援を行います。やりがい、連帯、楽しみにつながります。

## (6) 日課・月間予定表 (感染症予防などの理由により変更となる場合があります)

	第1日曜	第1月曜	第1火曜	第1水曜	第1木曜	第1金曜	第1土曜
午前	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 余暇時間	作業	作業	作業	歯科 往診 作業・ クラブ 活動	作業 掃除	余暇 時間 機能 維持 訓練 生活
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	自治会 活動 余暇 時間	運動	作業	作業 ティータイム	スポーツチャ ンバラ	運動	生活 余暇 時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	入浴	入浴	生活	入浴	生活

	第2日曜	第2月曜	第2火	第2水曜日	第2木曜	第2金曜	第2土曜
午前	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 余暇時間	作業	作業	作業	歯科 往診 ヨガ	作業 掃除	余暇時間 機能維持訓練 生活
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	自治会活動 余暇時間	運動	嘱託医診察 作業	作業 ティータイム	スポーツチャ ンバラ	運動	生活 余暇時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	入浴	入浴	生活	入浴	生活
	第3日曜	第3月曜	第3火曜	第3水曜	第3木曜	第3金曜	第3土曜
午前	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 余暇時間	作業	作業	作業	歯科 往診 作業・ クラブ活動	作業 掃除	余暇時間 機能維持訓練 生活
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	自治会活動 余暇時間	運動	作業	作業 ティータイム	スポーツチャ ンバラ	運動	生活 余暇時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	入浴	入浴	生活	入浴	生活
	第4日曜	第4月曜	第4火曜	第4水曜	第4木曜	第4金曜	第4土曜
午前	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 余暇時間	作業	作業	作業	歯科 往診 作業・ クラブ活動	作業 掃除	余暇時間 機能維持訓練 生活
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	自治会活動 余暇時間	作業	嘱託医診察 作業	作業 ティータイム	スポーツチャ ンバラ	運動	生活 余暇時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	入浴	入浴	生活	入浴	生活
	第5日曜	第5月曜	第5火曜	第5水曜	第5木曜	第5金曜	第5土曜
午前	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)	生活 整容 掃除 (通所利用開始)
	ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	朝礼 ラジオ体操	ラジオ体操
	生活 特別 整容	作業	作業	作業	歯科 往診 作業・ クラブ活動	作業 掃除	余暇時間 理学療法 生活
午後	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
	自治会活動 余暇時間	作業	作業	作業 ティータイム	スポーツチャ ンバラ	運動	生活 余暇時間
	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)	(通所利用終了)
	生活	入浴	入浴	入浴	生活	入浴	生活

## (7) 短期入所

帰宅や入院があった場合の空き居室を利用して短期入所サービスを提供します。入浴、排泄及び食事等の支援と見守りを行います。26日の利用を見込みます。

## 2 苦情相談窓口

ご利用者様からの相談をいつでも聞けるように、また、些細な訴えをキャッチできるように

意見箱を設置します。苦情の内容については、DOホームページやもりもり新聞で公開します。

### **3 安全対策**

#### **(1) 危機管理**

避難訓練や消火訓練、防犯訓練などを実施します。また、自己防衛のためご利用者様で組織する避難誘導隊の訓練を支援します。このほか事業継続計画に基づいた訓練を行います。

#### **(2) 感染症・食中毒対策**

すべての職員にインフルエンザの予防接種を行います。

次亜塩素酸空間除菌脱臭機により、館内の空気をきれいにします。換気はCO<sub>2</sub>測定器により効果的に行います。Cafe DO担当者の検便は、ノロウイルス検査を行います。

#### **(3) 誤嚥対策チーム**

看護師や管理栄養士・介護福祉士をメンバーにした誤嚥対策チームを作り、職員への研修等を実施し、嚥下・口腔ケアの強化に取り組みます。

### **4 職員**

#### **(1) 職員研修**

施設内研修やWEB研修により、最新の情報収集と幅広い知識や技術を取得し、質の高いサービスを提供します。

#### **(2) 人材確保と定着**

福祉未経験者や異業種からの転職を受入れるためにも、業務内容紹介映像を利用します。

退職者の再雇用制度や職員紹介制度を活用して公募以外からも人材の確保を図ります。採用された者にはプリセプター制度により1年間丁寧な指導します。職員満足度調査を行って不満要因を低減し長く働ける職場環境づくりに取り組みます。

#### **(3) 福利厚生**

加入しているリロクラブのさまざまな福利厚生メニューを提供します。

#### **(4) 腰痛予防対策**

ノーリフティングケアの徹底と始業時の腰痛予防体操により腰痛予防に努めます。

#### **(5) 健康保持・増進**

職員の健康保持増進のための勉強会を実施したり、健康アプリ「カロママプラス」の活用を奨励したりします。利用を促進するため入力ごとにリロクラブのサイトで使えるポイントを付与します。全職員の健康増進につながる取組みを継続して実施します。

#### **(6) ハラスメント対策**

職場での女性活躍促進のためにも、男女間をはじめとするハラスメントの根絶に向けて、全職員に啓蒙・研修を行います。

#### **(7) 家族の職場訪問の開催**

一般事業主行動計画に基づく職員家族の職場訪問を開催します。

## 5 情報公開

### (1) ホームページの活用

ホームページを活用して情報公開に努めます。

### (2) 広報誌の発行

ご利用者様やご家族に、情報誌「もりもり新聞」を毎月発行します。

### (3) 第三者評価の受診

福祉サービスのさらなる向上と点検、福祉事業の透明性の確保のため、京都福祉サービス第三者評価を受診し、その結果を公開します。

## 6 固定資産物品等の整備

### (1) カラー複合機の更新

電子帳簿に対応するためカラー複合機1台を更新します。

カラー複合機更新費 700,000 円

### (2) パソコン4台の更新

耐用年数が到来したパソコン4台を更新します。

パソコン4台更新費 1,000,000 円

## 7 ご家族様への対応

月に一度、ご家族への連絡会を設け、施設事業について説明を行います。感染症拡大等により連絡会を開催できない場合は、資料等を郵送します。

## 8 地域貢献

### (1) 地域と交わるイベントの開催

障がいのある人への理解を深めるため、アート活動など地域と交わるイベントを開催します。

### (2) DOスマイルミーティングの開催

地域の方に施設の持つ機能や専門性を知っていただくため「DOスマイルミーティング」を開催します。

### (3) 出張講座

援助技術のノウハウやプロセス等を地域に広めるため、学校や他施設に出かけて、無償で講演や発表・講習会を行います。

### (4) 実習学生・ボランティアの受入れ

今後、福祉社会を担う学生への指導のため、また、第三者(外部)の目を施設内に取り入れて開かれた状態を大切にするために、実習学生やボランティアを受入れます。

## 特定相談支援 青谷学園相談支援事業所

障害福祉サービスを利用されるご本人様の希望をよく伺い、サービスの目的を明確にし、サービス等利用計画を作成します。

サービス提供事業所の利用状況や家庭環境を確認し、適切なサービスが提供されているか、問題はないかモニタリングを行い、報告書を作成します。

必要に応じてサービス担当者会議へ参加、もしくは開催を行い利用計画の見直しを行います。

### 1 営業日と営業時間

営業日並びにサービス提供時間は次のとおりとします。

営業日	月・火・水・木曜日（祝日と年末年始除く）
営業時間	午前10時00分から午後4時00分

### 2 目標件数

目標件数を次のとおりとします。

契約件数	110件
サービス等利用計画書及びモニタリング報告書作成件数	42件
モニタリング報告書作成件数	100件
集中支援会議への参加	10件

### 3 利用者支援

#### (1) 感染症対策委員会

感染症の予防及びまん延防止に努め、感染症対策に関する研修を受講します。感染症対策委員会を年4回開催します。

#### (2) 虐待防止・身体拘束等の適正化のための対策検討委員会

虐待の防止及び早期発見への組織的対応を図ることを目的に、虐待防止・身体拘束等の適正化のための対策検討を行う委員会を年4回開催します。虐待防止・身体拘束の研修を受講します。

#### (3) 苦情相談

ご利用者様からの苦情や相談は苦情解決責任者が対応します。

### 4 職員

#### (1) 感染症対策

相談支援室内は光触媒空気消臭除菌装置を作動さ、職員にはインフルエンザの予防接種を行います。

#### (2) 職員教育

キャリアパスに基づいた人材育成計画に沿ってより、職場内研修やWEB研修により、最新の情報収集と幅広い知識や技術を取得し、質の高いサービスを提供します。また、さまざまな資格取得の支援をします。



### **(3) 福利厚生**

加入しているリロクラブのさまざまな福利厚生メニューを提供します。

### **(4) 健康保持・増進**

健康保持増進のためリロクラブの健康アプリ「カロママプラス」を提供します。毎食の栄養量や運動量などを入力して健康アドバイスを得られたり、健康診断結果をデータとして蓄積できたりします。利用を促進するため入力ごとにリロクラブのサイトで使えるポイントを付与します。

### **(5) 制服の支給**

制服の補充をします。